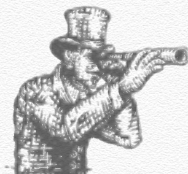


地域の歩き方 ~徳島編~

四国の東に位置する徳島県は、鳴門のうずしお、日本百名山霊峰剣山、桃源郷祖谷のかずら橋、日本三大暴れ川四国三郎の異名を持つ吉野川、瀬戸内海から太平洋へと続く海岸線からは美しい海が広がって豊かな自然が溢れています。また、「阿波踊り」「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」といった伝統文化、更には「すだち、なるご金時、鳴門わかめ、阿波尾鶏」をはじめとする高品質で特徴的な食材は徳島ならではの魅力と言えます。



おすすめ観光スポット



鳴門の渦潮

鳴門市孫崎と淡路島との間の鳴門海峡では、潮の干満によって渦潮が発生します。春と秋の大潮時に最大となり、潮流時速20km、最大直径20mにも及ぶものがあります。百雷のごとく凄まじい轟音を立てて渦潮が交錯しながら流れていきまは壮観です。「鳴門海峡」は、イタリアのシシリー島間の「メッシーナ海峡」、北アメリカ西岸とバンクーバー島東岸との間「セイモア海峡」と並んで「世界三大潮流」と呼ばれています。

ひょうたん島クルーズ

街の中を縦横に川が流れいくつもの島で構成された、水都徳島市。それを実感出来るのが市内中央部に位置する新町川と助任川に開かれた、その形から「ひょうたん島」と呼ばれる中洲を一周する遊覧船「ひょうたん島クルーズ」です。徳島は数多くの島の連合体で成り立っており、その間を川が網の目の様に走っています。その原因であった吉野川が大洪水の度に大量の砂を運ぶため河口にいくつもの砂の高まりができました。その砂の高まりはいくつもの島となり連合体となり、これらの島に縁起の良い「徳」の字をつけて地名にしたのが「徳島」です。いくつもの橋をくぐり美しく整備された川岸の公園、ヨットハーバーなど川から眺める街には、また新しい発見があります。

阿波おどり会館

徳島と言えば阿波踊りと言われる程、400年の歴史を持ち世界にもその名を知られています。現在の阿波おどりは毎年8月9日に開催される「鳴門市阿波おどり」を皮切りに徳島県内各地で開催されますが、最も賑わいを見せ日本最大規模を誇るのが毎年8月12から15日の4日間開催される徳島市の阿波おどりで、一年中阿波おどりが楽しめるのが「阿波おどり会館」です。阿波おどりを観覧するだけでなく、公演の中には阿波おどり体験コーナーも有り飛び入りで参加する事も出来ます。

大塚国際美術館

大塚国際美術館は、鳴門にルーツをもつ大塚グループの創立75周年記念事業の一環として、1998年3月21日、鳴門の地に開館しました。世界25カ国190余の美術館が所蔵する1,000点を超える西洋名画を、陶板で原寸大に再現した陶板名画美術館です。最近では2018年(平成30年)12月31日に地元出身のシンガーシンガソングライター米津玄師が第69回NHK紅白歌合戦に中継出演する際の舞台にもなりました。

卒業生紹介



吉見尚記 株式会社ヨシミ 取締役
2012年3月経済学部経済学科卒業

大学では西澤ゼミで環境政策論を学び、長野県飯田市ヘフィールドワークと政策の提言等を行いました。またサークル活動では英語研究会に所属しておりました。大学時代の授業やゼミ、サークル活動を通して何事も仮説を立てて考え、粘り強く挑戦し結果を出す厳しさを学びました。学生時代の友人達は現在も交流があり、視野が広がった大学時代は私にとって貴重な人生の財産です。

卒業後は食品卸売業の営業マンとして約5年間働きました。中間流通業として仕事の厳しさや面白味を実体験できました。また前職では法政大学卒業の方が多数在籍されていた為、同じ大学という事で様々な方に可愛がって頂きました。退職後は実家の農業資材(肥料、農業等)卸売業を継ぐ為、取引先である農業・肥料メーカー、農業ベンチャー企業等で約2年の他社勤務を経験し、週末は大学院で農業の勉強の後3年前に徳島へ帰郷。現在は農業業界を活性化させるべく、得意先である農協や小売店・農業法人等への配達業務から営業、営業補助業務や庶務全般を行っています。徳島県校友会へは、東京六大学の関係で石原会長からお声がけ頂いて参加した事がきっかけです。世代も学部も異なりますが、同窓という事で良くして頂いております。

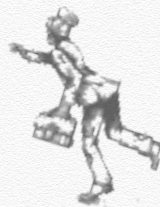


地域の名店



PEN FORK 住所：徳島市万代町5-71-6
電話：088-678-2207

今年の7月オープンした徳島市万代中央ふ頭にオープンした「Pen Fork」。洗練されたお洒落な空間で食事やスイーツを味わえるカフェ＆ベーカリーです。手掛けるのは洋菓子店「イルローザ」(徳島県校友会の岡田副会長が創業)はじまりは「時計台」という喫茶店でかつて多くの人が集まったこの場所が万代中央ふ頭に復活しました。ひょうたん島クルーズでお店の近くを通過する事が出来ます。



パートナー組織紹介

これまでの取り組み

昨年2019年の令和元年、法政大学全国卒業生の集い徳島大会を開催しました。開催に向けて約1年かけて準備し、当日は予定を遙かに上回る約500名の方々に御参加頂きました。初日の記念ゴルフ大会は、ジャンボ尾崎が設計したクラシックゴルフクラブで開催しました。2日目、大会式典での田中優子総長による「阿波文化と江戸文化」と題した講演、「阿波木偶箱まわし保存会」の講演と実演、懇親会では徳島を代表する蜂須賀連の阿波おどりは大変好評でした。最終日のエクスカッションは水都徳島・料亭しまだお座敷料理&藍染体験ツアー、秘境祖谷のかずら橋体験ツアー、鳴門のうずしおと大塚国際美術館ツアーを用意しました。県外の方々に徳島を満喫して頂ける様に工夫し、参加して頂いた方々からは満足頂いたお声を多数頂戴致しました。

